

- 国際沿岸海洋研究センターの新しい実験棟・宿舎棟が竣工し、供用が開始されました -

2018年3月5日

岩手県上閉伊郡大槌町赤浜地区に位置する国際沿岸海洋研究センターは、前身である大槌臨海研究センターが1975年2月末に竣工して以来、2011年3月11日の東日本大震災の際に発生した大津波による甚大な被害を受けながらも、全国共同利用施設として数多くの研究者の研究の場となる一方で、地域の皆様との交流の場として、40年以上の長きにわたって皆様と共に歩んでまいりました。

震災に壊滅的な被害を受けた教訓をもとに、より安全な設備を提供できるよう赤浜地区内の高台に移転するための準備をすすめておりましたが、この度、新しい研究実験棟・宿舎棟が竣工し、実験室の一部の供用を開始することができましたのでお知らせします。

また、地域の皆様や遠方からお越しのお客様にもお立ち寄りいただけるスペースとして正面エントランスホール・ギャラリーの整備を進めておりますが、4月末には現代アート作家・大小島真木氏による天井画もご覧いただける予定ですので、こちらにもご気軽にお立ち寄りください。

実験設備に関しては今後も準備を進め、2018年3月末には滞在中のデスクワーク用のスペースとしてご利用いただける共同研究室や低温実験室、培養実験用の調温調光室といった設備の供用を開始するほか、2018年度内にはクリーンルームやRI実験室の整備も予定しております。また取り壊される旧研究実験棟の跡地には屋外水槽をはじめとする実験用の飼育設備や、一般の方にもご覧になっていただける展示施設「海の勉強室」を設置していく計画となっております。

研究実験棟と共に竣工した宿泊棟については2018年6月頃の供用開始を計画しております。

2018年度内の施設の整備状況は刻々と変化していくことが見込まれ、また、屋外実験水槽や飼育実験棟など、旧研究実験棟の敷地内にある設備については建物の取り壊しや新しい設備の建築作業の工程に応じて一時的に利用不可となるものなどもあります。施設の利用を希望される方は、下記、担当者までお問い合わせください。

国際沿岸海洋研究センター センター長 河村知彦

問い合わせ先：国際沿岸海洋研究センター 沿岸保全分野 福田秀樹

E-mail: hfukuda@aori.u-tokyo.ac.jp

電話: 04-7136-6405、FAX: 04-7136-6406